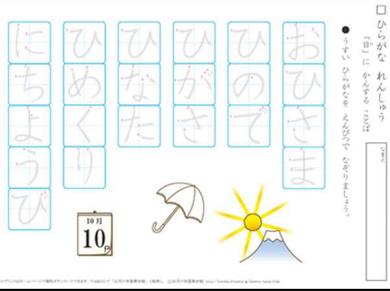


特別支援教育の教材・教具について

特別支援教育では、個別の目標や指導内容が設定されます。そこで、一人一人の実態に応じた教材・教具の工夫が必要となります。

○特別支援教育の教材・教具（例）

学習カレンダー	学習カード（なぞり書き）	エアートランポリン
 <p>単元（題材）を通した学習の予定を確認することで、見通しを持って学習に取り組むことができます。</p>	 <p>個別の課題に応じて作成し、ラミネート加工を施すことで、繰り返し使用することができます。</p>	 <p>コンプレッサーで空気を送りながら、跳ねるだけでなく、座位や臥位等、好きな姿勢でフワフワした揺れを体感できます。</p>
タイムタイマー・タイマー	学習教材（色の弁別）	今日の予定ボード
 <p>時間を視覚化することで、「始まり」と「終わり」を意識させることができます。</p>	 <p>色の弁別や形のマッチング等、児童の実態に応じた課題を学習することができます。</p>	 <p>予定や活動の順序等を視覚化することで、見通しを持たせることができ、自発的な行動を促します。</p>



参考：独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所
「特別支援教育教材ポータルサイト」

<http://kyozai.nise.go.jp/>



一人一人の実態を踏まえ、個別の教材・教具を準備しましょう。教材・教具を自作するときは、安全面にも留意して作成しましょう。

